

金峯山とクアオルトの可能性

かつて庄内には羽黒修験だけでなくいくつもの修験がありました。なかでも金峯修験は、庄内の外からも多くの人を集めたと伝えられています。そして修験の後は、はばき脱ぎという現世に戻る儀礼があり、金峯山では、それは麓の湯田川温泉に遊ぶことでありました。修験と温泉との関係は明治以降廃れてしまいましたが、ドイツではクアオルトとして現在も続いています。クアオルトでは、医師の指導のもと温泉保養、野山の気候や海、水を活用し治療するほか、野山を歩く健康ウォーキングも行われています。日本でも近年まで湯治が盛んでしたが、ドイツでは、現在も温泉活用とともに野山のウォーキングを一緒に行っており、それは日本の修験とはばき脱ぎの取り合わせに似ています。近年これを日本型クアオルトとして日本で初めて試みているのが上山温泉です。観光客の減少を補うとともに、地域住民の健康寿命の延長、医療費削減を狙っています。上山市は温泉旅館が中心となり、市がバックアップしていますが、それを指導しているのが、市役所を辞め、芸工大でこれを研究し、博士号を取得した小関信行氏です。金峯山は昭和16年に国の名勝となりましたが、平成30年、初めて保存活用計画が策定され、より多くの人たちの来訪が期待されています。今でもハイキングで上る人は多いのですが、それに加えて、湯田川温泉をあわせて利用する新しいレクリエーション、保養としてのクアオルトの可能性、その結果としての金峯山、湯田川温泉の振興、さらには表参道である青龍寺集落の茶店復活や、麓を含めての風景の保全を、先行する上山温泉から小関氏をお迎えして、参加者の皆さんと一緒に考えたいと思います。

参考：上山市クアオルト <https://www.city.kaminoyama.yamagata.jp/site/kurort/>



■講師

小関信行(日本クアオルト研究所所長、日本クアオルト研究機構事務局長)

[略歴] 上山市役所を辞め、東北芸術工科大学でドイツのクアオルトを研究。2009年、博士号を取得。日本初のクアオルト学研究者として、上山市、天童市、西川町、青森市、秋田県三種町、大分県由布市、埼玉県所沢市、同横瀬町、石川県珠洲市、岐阜県白川村、同飛騨市、同岐阜市、三重県志摩市、兵庫県多可町、岡山県新見市、宮崎県延岡市ほか多数の地域で日本型クアオルトの形成や気候性地形療法を指導。ドイツ全土のクアオルト鑑定者であり、気候性地形療法を見出したミュンヘン大学アンゲラ・シュー教授より、日本での気候療法・気候性地形療法の研究・指導に関する全権を委任されている。

■催し1 小関信行氏 講演会

2019年9月24日(火)14:00~16:00、東北公益文科大学大学院鶴岡キャンパス・ホール

■催し2 金峯山の麓を歩く(金峯山麓クアオルト・コース試し歩き) 湯田川コミュニティセンター：共催

2019年9月25日(水)9:30~11:30 小雨決行(山歩きの靴、帽子、水筒、虫除けスプレー等、適宜用意ください)
集合：湯田川コミュニティセンター Tel: 0235-35-2111 (当日朝確認用)

■参加の方法 無料です。催し1は申し込み不要。催し2は、前々日までに下記にお申し込みください。

■申し込み・問い合わせ 東北公益文科大学地域共創センター〒998-8580 酒田市飯森山3-5-1
Tel: 0234-41-1115 Fax: 0234-31-2082 E-mail: kyoso@koeki-u.ac.jp